

かぞく百景 I

生活特報部 FAX 092 (711) 9056 メール seikatsu@nishinippon-np.jp

心と体の性が一致しないトランスジェンダーや同性愛などのセクシュアルマイノリティー(性的少数者)である子どもの場合、学校生活は心身への負担が大きい。悩みを抱えて孤立し、いじめや不登校につながるケースもある。そんな現状を理解し、支援しようという動きが教育関係者の間で活発になってきた。

(新西ましほ)

「気付かないだけで、実際は学級に1人か2人はLGBTの子がいると考えるください。」2月に熊本市で開かれた九州地区の性教育研究大会。「多様なセクシュアリティーを持つ子どもへの支援を考えるを主題に、当事者を交えてのパネルディスカッションがあった。

LGBTは、同性愛のレスビアンやゲイ、両性愛のバイセクシュアル、トランスジェンダーの英語の頭文字。こうした性的少数者の人口比は3〜5%程度とされる。思春期には、二次性徴による体の変化、男女別の制服やトイレ、恋愛感情の芽生えなどで性別への違和感が強くなったり、自己

「気分が悪いだけで、実際は学級に1人か2人はLGBTの子がいると考えるください。」2月に熊本市で開かれた九州地区の性教育研究大会。「多様なセクシュアリティーを持つ子どもへの支援を考えるを主題に、当事者を交えてのパネルディスカッションがあった。

性的マイノリティーの子理解を 教育関係者が取り組み

当事者交え議論 研究大会

性同一性障害(GID)学会理事長で岡山大学病院・ジェンダークリニックの医師、中塚幹也さん(51)によると、GIDと診断された人の約9割が中学生までに性別違和を感じていたという。また、患者1452人の分析では、自殺しようと考えた人が58%、不登校経験者は30%に上った。中塚さんは「治療でひげや声変わりを抑えることもできる。医療機関につなぐ意味でも学校の役割は重要」と



「性同一性障害(GID)学会理事長で岡山大学病院・ジェンダークリニックの医師、中塚幹也さん

に申し出た。返ってきたのは「そんなわがままを言う」と社会でやっていけない。以降、必死で気持ちを押しのけた。誰にも言えず、死にたいと思う時期もあった」と振り返った。真さんがLGBTについて知ったのは19歳の時。友人の紹介で、福岡県で開かれた「性的マイノリティーの子理解を教育関係者が取り組み」の勉強会に参加した。中塚さんは「学校で学ぶ機会があれば、もっと早く人生が動き始めたと思う」と話した。

「性同一性障害(GID)学会理事長で岡山大学病院・ジェンダークリニックの医師、中塚幹也さん(51)によると、GIDと診断された人の約9割が中学生までに性別違和を感じていたという。また、患者1452人の分析では、自殺しようと考えた人が58%、不登校経験者は30%に上った。中塚さんは「治療でひげや声変わりを抑えることもできる。医療機関につなぐ意味でも学校の役割は重要」と

「性同一性障害(GID)学会理事長で岡山大学病院・ジェンダークリニックの医師、中塚幹也さん



「多様な性」をテーマに特集した福岡市人権教育研究会の機関誌

性教育研究大会で話し合われた学校生活での対応をQ&Aでまとめてみた。

Q どうやって情報を伝えたいのですか。
A 学級文庫にLGBTに関する本を置く▽新聞を使った学習の時間に他の記事と一緒にLGBT関連のものを紹介する▽象徴であ

多様な生き方教えて 差別的発言はやめて

Q 悩んでいるのに言い出せない子への対応は？
A 知識がなければ自分
Q 悩んでいるのに言い出せない子への対応は？
A 知識がなければ自分
Q 悩んでいるのに言い出せない子への対応は？
A 知識がなければ自分
Q 悩んでいるのに言い出せない子への対応は？
A 知識がなければ自分

